

# 資料5

## 降圧利尿薬に関する検討会で検討予定の薬剤

	一般名 主な販売名(製造販売業者)	用法・用量	日本高血圧学会 要望適正用量 (1日量)
1	ヒドロクロロチアジド ダイクロライド錠25mg(万有製薬株式会社)	通常、成人にはヒドロクロロチアジドとして1回25～100mgを1日1～2回経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。 ただし、高血圧症に用いる場合には少量から投与を開始して徐々に増量すること。また、悪性高血圧に用いる場合には、通常、他の降圧剤と併用すること。	6.25mg～25mg (最大50mg)
2	インダパミド テナキシル錠1mg・2mg(アルフレッサ ファーマ株式会社) ナトリックス錠1mg・2mg(京都薬品工業株式会社)	インダパミドとして、通常成人1日1回2mgを朝食後経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。 ただし、少量から投与を開始して徐々に増量すること。	0.5mg～2mg
3	クロルタリドン ハイグロトン錠50mg(ノバルティス ファーマ株式会社)	高血圧症(本態性等) 通常、成人にはクロルタリドンとして1日1回50～100mgを毎日又は隔日に経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、少量から投与を開始して徐々に増量すること。	6.25mg～25mg
4	トリクロルメチアジド フルイトラン錠2mg(塩野義製薬株式会社)	通常、成人にはトリクロルメチアジドとして1日2～8mgを1～2回に分割経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。 ただし、高血圧症に用いる場合には少量から投与を開始して徐々に増量すること。また、悪性高血圧に用いる場合には、通常、他の降圧剤と併用すること。	0.5mg～2mg